

回答
ANSWER

質問
QUESTION

コミュニティバスのより有効な活用を

高齢者の外出を応援します

〔民生調整監兼住民環境課長〕

質問 昨今、高齢者による事故（アクセルとブレーキの踏み間違いによるもの）をよく耳にします。それに伴って運転免許証の返納が叫ばれています。当町でも高齢化が進み運転免許証の返納者が今後増えることが予想されます。

その対策として、現在コミュニティバスは運転免許証自主返納者は無料になっていますが、経路が決まっております。家の前までとはいきません。さらに、高齢になり足が痛くて歩けなくなったり、車椅子になつた場合には、バス停まで行くことができなくなります。他の市町では、予約制の福祉タクシーを導入したり免許返納の際、タクシーチケットを配つたりといういろいろされていますが、当町ではどのような対策をお考えでしょうか。

質問 穂積駅まではバスが運行し便利になりましたが、利用状況に応じたバスの停移動、「もう少し安いなら利用したい」という声も聞かれますが、運賃を町として補助することはできないのでしょうか。

また、タクシーのような自宅前、ドアトゥドアまでとはいきませんが、皆様の声を聞き、経路変更・バス停追加を検討します。町では、高齢者などの対象者を絞ることで、財政面からの検討ができると思います。外出支援、福祉の施策としてデマンド型交通などを含めて今後考えます。

回答 運行事業者は、会社独自の事業として、運転免許証返納者が運転経歴証明書提示すれば、年齢に関係なく、本人プラス同伴者1人も半額になる事業を展開しています。者の外出支援、交通安全からの免許返納に対し、公共交通の利便性向上に努めます。

バス利用の拡大施策として、有効な方法をさぐり、福祉面で高齢



わたなべ ひろみつ
渡邊 裕光

回答 コミュニティバスの利用は、バス停での乗車・降車で、現在車両スペースの関係から、車椅子での利用ができません。また高齢者用手押し車などの持ち込みも制限しており、



現在2台体制で巡回しているコミュニティバス